

今週のセルグループ (赤字)		10月18日(日)~10月24日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉		LINE 電話	10/11 3名 主の愛が原動力で前を向いていられます。
グレイス 鈴木千姉	10/23(金) 午後8:30	鈴木宅	10/9 3名 ちょっと求めているはずがきらめてるのはみことばをよく聞いていないことだ。
Gospel 鈴木尚姉	10/24(土) 午後4:00	鈴木尚宅 交わり	10/4 2名 つくられた自分を嬉しく思うと周りの人のことも同じように神様につくられたとわかる。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	10/11 9名 神様は必ず救ってくださり、洗礼を受けられるようにして下さると信じます。
からし種 磯貝姉	10/29(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	10/11 3名 原動力は神の愛。悶々として過ごすことが偶像だと語られました。
ユース 岩下兄	11/8(日) 午後1:00	LINE 電話	10/4 4名 祈ってみことばが与えられて受け取り、平安が与えられた。
Rock 鈴木洋兄	10/28(水) 午後8:30	鈴木宅	10/7 3名 「神の愛を知ること」それも「体験的に知ること」が本当に何よりも必要なこと。
シャローム 平岩姉	10/24(土) 午前10:00	平岩宅	10/10 3名 自分には価値がないと常に思っていたので、それが偶像礼拝とわかった。
なつめやし 高橋智姉	10/25(日) 練習後	高橋宅	10/11 6名 間違っって祈ったあの頃に戻り、悔い改めるなら、スタート地点に立てると思う。
リジョイス 杉本姉	10/20(火) 午前11:00	久屋大通 パーク	10/6 4名 自分が砕かれた様を見て、家族は救われる。これが証しだと強く語られた。
ジョイフル 穂刈兄	10/29(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	10/1 4名 なぜ今までで言っていなかったのか。恐れがありました。言ったら何も問題はありませんでした。
アガベ 長塚姉	10/25(日) 練習後	コミュニティ センター	10/11 4名 完璧主義が捨てられていない。自分はそういうものだという考えがある。それも偶像だった。
サクセス 鈴木勝兄	10/25(日) 礼拝後	コミュニティ センター	10/11 10名 セルリーダーのためにお祈りください。
リーダーズ セル	11/11(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	9/9 20名 決めた通りに生きると、聖書に書いてある通りに結果としてしるしがある。
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	10/25(日) 午後1:00	コメダ	10/11 4名 食事の交わりをして恵まれました。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	10/24(土) 午後6:30	エステル	10/10 4名 愛をもって接することで彼女がまったく変わり、毎日の仕事が楽しくて仕方ありません。
ギデオ 芳井兄	10/24(土) 午後6:30	芳井宅	10/10 4名 非常にやる気にさせられている。やる気は愛から来ることがよくわかった。
カルバリ 野田兄	10/20(火) 午前9:00	野田宅	10/6 5名 福音を第一に家族と向き合っていきたいという思いが与えられました。
神の家族 伊岐見真姉	10/26(月) 午後7:30	LINE 電話	10/12 2名 患者さんの些細な状況に気が付く事ができ、早めの対処ができていたこと感謝。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	10/18 (日)	大高愛姉	鈴木千姉	10/22 (木)	鈴木千姉
		開始時間 午前10時			
来週	10/25 (日)	大高愛姉	鈴木尚姉	10/29 (木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時			

※ 本日午後1時45分から、山田邦雅兄弟と尾崎蛭姉妹の結婚式が行われます。祝福をお祈り下さい。配信でもご覧になれます。

※ 本日結婚式後、クリスマス奉仕者ミーティングを行います。ご奉仕をして下さる方はお集まり下さい。

※ 10/20(火)のバイブルスタディはUstream配信で行います。午後1時、7時。また、Zoomでも受講できます。(昼の部のみ) (Zoomを希望する方はメールで連絡して下さい。申込先 [david@revival.jp](mailto: david@revival.jp))

※ 10/21(水)の浜松バイブルスタディは休講です。

- 祈りの課題
- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
 - ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルママズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
 - ・ギデオ協会の働きのために
 - ・セルグループの祝福
 - ▶ LIG人生変革グループの祝福
 - ・プレーヤハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1317

2020年10月18日(日)発行 10月第3週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 10時

- ・讚美
- ・祈り
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めてのの方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [感謝] すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ



いつまでも残るもの



「1コリント13：13
こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。」

古代エジプトのミイラ

今月初め、今年の八月にエジプトのカイロ近郊で発見された木棺(もっかん)59個が公開されました。これらは聖職者の木棺で、中にはミイラが納められていました。木棺には赤や緑で模様や古代神などの絵が書かれていて、保存状態が極めてよかったため、色鮮やかなものばかりです。紀元前664年～525年のものだという事ですので、そのようなきれいな色があせないで残されていることは驚くべき事です。

古代エジプト人は、死後の世界や魂の復活を信じていました。そのため来世での生活に備え、肉体をミイラにして保存しました。完全に保存された肉体のみが「永遠の生」を得ることができ、来世で幸福に生きるために必要不可欠なものと考えられてい

たそうです。棺の中には、死者が「永遠の生」を来世で獲得するための呪文、「死者の書」が置かれ、「永遠の生」を得た後に死者を養うために、船の模型や召使の人形が置かれました。

聖書の創世記にも、エジプトの宰相(さいしょう)となっていたヨセフが、父ヤコブがその地で死んだ時、彼をミイラにして葬ったとあります。そしてヨセフもミイラにして葬られました。ミイラはエジプトだけでなく世界各地で発見されています。

朽ちないものはない

聖書には「神はまた、人の心に永遠を与えられた。(伝道者3：11)」とありますが、永遠のいのちを求め、人の体を永遠に残そうとしたミイラも、その心のあらわれでしょう。しかし、形のあるものでいつまでも朽ちないものは何भीありません。どんな物も必ず朽ちて行くことは、私たちの生活の中でも実感できます。たとえば道を歩いていると、時々とても古い建物を見かけることがあります。トタンは錆びてめくれ、壁に穴が空いているのを見ると、この建物もその昔、建てたばかりのときは新品でピカピカだったのだらうかと想像できます。また、食べ物には必ず消費期限があります。缶詰や梅干などの保存食はかなりの年月もちますが、永遠に保存できるわけではありません。着るものなども

そうです。以前スキー場で、古いスキー靴が文字通りバラバラに崩れるのを目の当たりに見て、見かけは堅くて丈夫そうな物も、ほんの数年の年月が経ただけで朽ちるのだと悟らされたことを思い出します。物質は必ず崩壊し拡散して行くのです。これはエントロピーの法則と呼ばれる神様が定められた科学の法則です。

いつまでも残るもの

しかし、聖書は永遠に残るものがあると言っています。それは物質ではありません。冒頭の第一コリントのみことばには、「こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。」とあります。

聖書が言う「愛」は神様の愛です。神様は私たちを愛してください、私たちが自分の罪ゆえに滅びることのないように、イエス・キリストを地上に送ってくださいました。そしてキリストは、私たちの罪の身代わりとなって十字架で死に、復活してくださいました。キリストを信じる人は罪赦され、滅びることなく永遠のいのちが与えられるのです。神様の愛は、ご自分のいのちを犠牲にするほど私たちを愛してくださいました愛です。

このように、まず神様の「愛」がありました。その愛を知って、私たちは神様を信じる「信仰」、そして罪が赦されたことを

信じる「信仰」が与えられました。さらに信じる者には永遠のいのちが得られるという「希望」が与えられました。この「信仰」と「希望」は、私たちが自分から神様を拒まない限り、永遠になくなることはありません。「いつまでも残るもの」です。神様の愛がなければ、私たちは信仰も希望も持つことはできませんでした。だから、「愛」が「一番すぐれている」のです。神様が与えてくださった恵みを感謝します。

永遠の愛

神様は私たちに「愛を追い求めなさい。(1コリント14：1)」と言われます。私たちは、神様のように人を完全に愛することなどできません。しかしまず神様が愛してくださいましたので、私たちは愛することができます。夫婦の愛も、親子の愛も、そのほかの人間関係もみなそうです。人は愛されて初めて、愛するやうな気が与えられるからです。また神様の愛は、永遠に変わることがありません。古今東西の人々が求めた「永遠」は、真の神様を信じ、キリストの十字架の愛と赦しを受け入れる時に与えられるのです。「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。(エレミヤ31：3)」